



山端 博 (かけはし)

北里大学による経済効果は

経済効果大きく
今後も相互に発展したい

議員 約千五百人の学生が在籍する北里大学獣医学部による経済効果は、**企画財政部長** 直接的な

議員 のぼり等で獣医学部創立五十周年の祝賀ムードを高めては、**市長** 平成二十六年に

経済効果としては、教育・研究活動による効果、教職員や学生の消費による効果、大学施設の整備等による効果などがあります。学部年間予算額が全て市に投下され、在籍学生が学生生活調査に基づく標準的生活費により生活していると仮定した場合、経済効果は、平成二十六年度は六十一億二千万円、平成二十七年度は六十億九千万円と推計されます。ほかに、地域教育・文化の振興、人材育成、地域活性化や課題解決への貢献、地域イメージの向上、交流人口の増加など数値であらわすことができない様々な波及効果があると認識しています。

北里大学の設立母体である北里研究所も百周年を迎えたことから、大学が作成した記念フラッグを平成二十六年八月から官庁街通りや大学通りに取りつけ、五十周年を祝うとともに市民への周知をしました。また、ことし四月にはノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智教授の特別記念講演などの記念事業が計画されています。なお、平成二十八年度予算には、このような記念事業への補助や公開講座を拡充するための予算を計上しています。のぼり等については、記念事業の実施主体である実行委員会と協議したいと考えています。



官庁街通りの記念フラッグ

議員 生活保護受給者の世帯数・人数・年間総支給額は、**健康福祉部長** 平成二十

四年度は八百三十一世帯、千二十八人、十六億七千四百六十六万円、平成二十五年度は八百三十七世帯、千三十五人、十六億三千三百二十四万円、平成二十六年度は八百七十世帯、千六十人、十七億二千六百六十六万円です。

大区画ほ場整備への補助を

地域要望あれば
協議、支援したい



斉藤 重美 (自民公明クラブ)

地改良事業の農業競争力強化基盤整備事業を推進する考えはあるか。

農林部長 ほ場整備は大区画化が図られ、労働時間短縮や効率化により農業所得の向上にもつながると考えています。ほ場整備事業は地域の合意形成が必要不可欠です。で、要望があった際には県や土地改良区、地元の方々と協議しながら、支援したいと考えています。また、この事業ではほ場整備を行った場合の事業費負担割合は、一般地域で国五〇％、県二七・五％、地元二二・五％、中山間地域に指定されている場合国五五％、県二七・五％、地元十七・五％となっています。なお地元負担は農林水産省の指針によると、市は十％の負担割合となっています。

議員 農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加が進んでいることから、担い手の育成や、農地の集積・集約化による規模拡大をしていく必要がある。ほ場整備を進めるため、**市長** 県道と市道が交

差する旧高清水駅付近の交差点は、平成二十七年

度から県と連携し、測量調査及び実施設計を進めています。平成二十八年度には県が用地補償を行い、市は市道部分の用地補償及び水路工事を実施する予定です。

建設部長 県では、レストランペリカン付近から旧北里大学前駅までの区間に歩道を、レストランペリカン付近及び十和田工業高校付近交差点の渋滞解消のため、右折車線を設置する予定で、平成二十八年度から測量設計を実施することです。また、接道する市道部分の整備は、県と協議していきたいと考えています。



旧高清水駅付近交差点